



# 園だより 5月

令和8年4月30日

千代田区立麴町幼稚園

園長 田村 砂弥香

「やってみたい！」がいっぱいの5月に

園長 田村 砂弥香

新緑が次第に色濃くなり、さわやかな風が心地よい季節となりました。園庭では、青空を背景に大きなこいのぼりが悠々と泳ぎ、子どもたちの笑顔を見守っています。また、幼稚園の廊下には、子どもたちが思い思いに彩った大きなこいのぼりが登場しました。季節の移り変わりを感じながら、子どもたちは存分に遊びや活動を楽しんでいます。



4月に入園したはな組の子どもたちも、少しずつ幼稚園での生活に慣れてきました。はじめは不安そうに保護者の方の後ろに隠れたり、思わず泣き出したりしていた子も、日に日に生活のペースをつかみ、自分で名札を取り出したり、靴を履き替えたりするようになりました。朝の支度や片付けを、自分でやろうとする姿も見られます。子どもたちがもともと持っている、よりよくなろうとする力や、小さな一歩を踏み出す勇気を感じて、私たち教職員も励まされるような気持ちになります。

また、一つずつ進級したやま組、そら組の子どもたちは、はな組の子どもたちを気にして声を掛けたり、お手伝いしようとしたりする姿が見られます。関わりの中で人は育ち、立場に応じた行動を考え、身に付けていくことをあらためて実感します。

5月は、春ならではの自然との出会いも豊かです。園庭で草花や虫を見つけては立ち止まり、じっと見つめたり、友達と発見を伝え合ったりする姿は、子どもたちの知的好奇心の芽生えそのもの。こうした体験を通して、思いやりの心や、命を大切にする気持ちが育っていきます。子どもたちの興味・関心を生かしながら、「やってみたい！」がたくさん生まれる環境を整えていきたいと思えます。



頑張ってきたこの1か月、少し疲れが見えるお子さんもいるのではないのでしょうか。ゴールデンウィークには、ぜひご家族でゆっくりとリフレッシュできる時間を過ごし、幼稚園で楽しかったことや、新しくできたお友達の話などをたくさん聞いてあげてください。5月もどうぞよろしくお願いたします。

